



テーマ叙述編Ⅲ

和泉市の近現代

—第7回配本—

和泉市史編さん委員会 編

和泉市の歴史 8

第7回配本 和泉市の歴史8 テーマ叙述編Ⅲ

「和泉市の近現代」



監修 広川禎秀・佐賀 朝
 仕様 A5判・510ページ・オールカラー
 価格 2,200円(税込、送料別)

「和泉市の歴史」刊行計画

全9巻(地域叙述編5巻・テーマ叙述編3巻
 通史編1巻)および別編

- 1 地域叙述編 横山
 「横山と槇尾山の歴史」 (既刊)3,143円(税込)
- 2 地域叙述編 松尾
 「松尾谷の歴史と松尾寺」 (既刊)3,143円(税込)
- 3 地域叙述編 池田
 「池田谷の歴史と開発」 (既刊)3,143円(税込)
- 4 地域叙述編 信太
 「信太山地域の歴史と生活」 (既刊)3,143円(税込)
- 5 地域叙述編 府中
- 6 テーマ叙述編Ⅰ
 「和泉市の考古・古代・中世」 (既刊)2,200円(税込)
- 7 テーマ叙述編Ⅱ「和泉市の近世」 (既刊)2,200円(税込)
- 8 テーマ叙述編Ⅲ「和泉市の近現代」(第7回配本)
- 9 通史編
- ◆ 別編「和泉市50年のあゆみ」 品切

日本の近現代とは、明治維新から現在までの歴史であるが、時代区分として前近代から近代への移行とともに、十五年戦争の敗北、戦後改革以後の時代を現代として区分することを重視している。そうした時代を画する巨大な転換期とともに、人びとの生活構築の歴史を規定したさまざまな政治的経済的あるいは社会的レベルの転換期がある。日本の近現代史において、近代天皇制の成立と地方制度の再編、資本主義の育成や日本の帝国主義列強への参入、十五年戦争、敗戦と日本国憲法の制定、資本主義の高度経済成長などが人びとの生活を大きく変え、多くの苦難や希望をもたらしたが、それらが人びとの生活世界で何を意味したか明らかにすることが重要である。

序 「時代の転換と地域社会の変貌」より

(前略)本書で論じてきた近代・現代にわたる多くのテーマは、いずれも近世以来の(家と村を基盤とする)「伝統社会」が、長期にわたり持続しながら、一定の軌轍や矛盾をともないつつも、近代化・資本主義化にともなって浸透する新たな社会関係との間で、適合・妥協していく中で、変容し解体へと向かうプロセスを描いた面があるといつてよからう。

むすび「伝統社会の解体過程と和泉市の近現代」より

購入方法

〔和泉市〕下記にてご購入ください。

市役所・文化遺産活用課窓口、いずみの国歴史館、
 信太の森ふるさと館、久保惣記念美術館 ほか

〔書・店〕各書店にてご注文ください。

〔発売元〕下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

〔発行〕和泉市教育委員会 文化遺産活用課

〒594-8501 大阪府和泉市府中町2-7-5
 TEL. 0725-41-1551(代) FAX. 0725-41-0599

〔発売〕株式会社 ぎょうせい

〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11
 ☎0120-953-431【平日9～17時受付】
<https://shop.gyosei.jp>

和泉市の近現代 刊行

監修 広川禎秀・佐賀朝

目次

序 時代の転換と地域社会の変貌（広川禎秀）

第1部 時代を読む① 近代移行期の政治変動と村むら

- 第1章 領主制の解体・統治機構の再編と堺県（島田克彦・山下聡一）
- 第2章 寺社の再編をめぐる村と人びと（島田克彦・山下聡一）
- 第3章 近代社会への移り変わりと村（島田克彦）
- コラムⅠ 村の文書管理―明治前期の若樫村（島田克彦）
- 第4章 山の用益・開発と土地所有（島田克彦）

第2部 時代を読む② 地域からみた十五年戦争

- 第1章 軍事拠点としての和泉市（森下 徹）
- 第2章 戦時下のくらし（森下 徹）
- 第3章 泉北郡の国防婦人会（人見佐知子）
- 第4章 村の軍人墓地と忠魂碑（森下 徹）
- コラムⅡ 戦前における朝鮮人の集住と労働・生活（森下 徹）

第3部 時代を読む③ 地域開発の展開と地域社会の変貌

- 第1章 和泉市の成立と展開（高岡裕之）
- 第2章 上水道の成立（加来良行）
- 第3章 地域開発の展開（高岡裕之）
- コラムⅢ 昭和期の和泉府中駅前再開発（初田香成）
- 第4章 地域に生きた知識人―南清彦―（広川禎秀）

第4部 テーマで観る ―神社・学校・地主・織物―

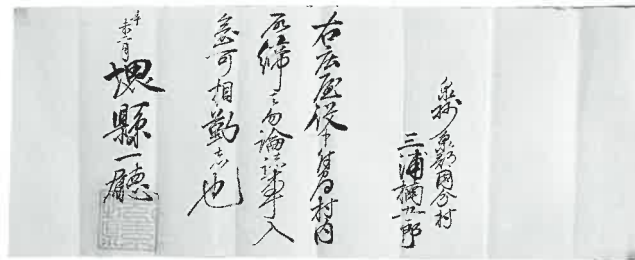
- 第1章 神社合祀と和泉（山下聡一）
- コラムⅣ 泉州の草相撲（飯田直樹）
- 第2章 小学校の誕生と展開（柏木 敦）
- 第3章 戦後学校教育の展開と隔週定時制（柏木 敦）
- コラムⅤ 和泉に電車がやってきた（森下 徹）
- 第4章 近代地主制の展開（佐賀 朝）
- 第5章 織物業の展開（佐賀 朝）

むすび 伝統社会の解体過程と和泉市の近現代（佐賀 朝）

近世農村から機業と農業のまちへ、そして、大都市近郊の住宅都市へ。
変貌を遂げる歴史的画期を多面的に描く、待望のテーマ叙述編完結。



横山村から献納した戦闘機



明治4（1871）年「(国分村) 庄屋役任命書」(国分・三浦家文書)



和泉市庁舎と市民会館 1964（昭和39）年ころ



池田谷上空から和泉中央駅周辺をのぞむ
2011年撮影



市内の織物工場 1960年代か